

JASPEC試験設備年間使用権のご案内

一般財団法人JASPECの事業内容

JASPECは、安全性が確保された福祉用具等高齢社会を支える技術が応用された製品を消費者に安心して使用していただける環境をつくるため、それら製品の工学的・臨床的試験を通じ製品評価事業を行っています。

JASPEC事業の特徴

1. JASPECは、被評価事業者からのいかなる影響も受けない独立した機関です。
2. JASPECは、福祉用具等におけるハードの安全性を試験・評価する機関です。
3. JASPECは、福祉用具等の安全・安心な利用促進のための諸事業を行います。
4. JASPECは、国等と連携して安全な福祉用具供給システム創造に寄与します。

あってはならない・やってはいけないことを起こさないために

2024年1月、各自動車メーカーの相次ぐ認証不正がニュースとなりました。この事態についてあるメーカーのトップは、次のようにコメントしました。「～ 認証で不正をしたわけで、販売してはいけない商品をお客様に届けたということが起こったと思う。絶対にやってはいけないことをやってしまった。認証において不正を働くということはおお客様の信頼を裏切り、認証制度の根底を揺るがす極めて重いことであると受けとめている」（2024年1月30日 NHK「NEWS WEB」）

このような不正を防ぎ、真に消費者の安全・安心を担保するためには専門知識と技術をもつ中立・公平な第三者の「目」が関与した製品試験実施が不可欠です。

JASPECには、第三者の「目」と安全確認設備があります

産業技術の進展により私達の生活環境は大きく変貌しています。ニュース報道を肉声に近いAIが伝え、自動車の運転操作ミスを予防する自動運転システムが開発されるなど現在の産業技術は、「人間の行動・言動・意志を代替する技術」と言えます。本来、このような技術が最も求められる対象は、行動・意志発信能力に支援が必要な人です。歩行行動に支援が必要な方や、視覚・聴覚・発声などの能力に支援が必要な方に必要な技術です。

最新テクノロジーを製品開発へ活用することの前提は、技術活用された完成製品の品質確保と安全性です。

JASPECには、これら製品の品質と安全性を確認できるノウハウ（「目」）と下記のような独自開発設備があります。

製品開発段階や流通前の安全性確認にこの「目と設備をご利用のうえ、貴社製品の販売戦略にお役立て下さい。

ご利用ご提案設備例

屋内傾斜安定性試験路／屋内静的安定性試験機／耐候性試験室／各種環境試験路

ご使用提案のJASPEC試験設備概要

屋内傾斜安定性試験路

この試験路は、主に電動車椅子の動的安定性能に関する走行テストをするための、角度可変型スロープです。路面の摩擦係数はISO規格値に合わせています。

- ・ 全体寸法 21m × 6m × 5m
- ・ 試験路面 10m × 4.5m
- ・ 踊り場 4m × 4.5m
- ・ 傾斜角度 0～12度（任意）
- ・ すべり摩擦係数 0.923
- ・ 表示 傾斜角度



屋内静的安定性試験機

この試験機は車椅子の傾斜に対する前後・左右の安定性を試験する試験機です。水平から徐々に傾斜を増していき、いずれかの車輪が浮いた時点の角度を求めることができます。側方・前方・後方への安定性が確認できます。

- ・ 全体寸法 2.0m × 3.3m × 1.7m
- ・ 試験面 1.5m × 1.5m
- ・ 傾斜角度 0～30°
- ・ 傾斜速度 10～60° /分（可変）
- ・ 表示 傾斜角度
- ・ 安全装置 非常停止ボタン



ハンドル形電動車椅子の左右安定性試験

耐候性試験室

様々な環境下における性能テストのための部屋です。高温室、低温室、恒温恒湿室、降雨室からなり、一定時間保管後または散水後のチェックが行えます。

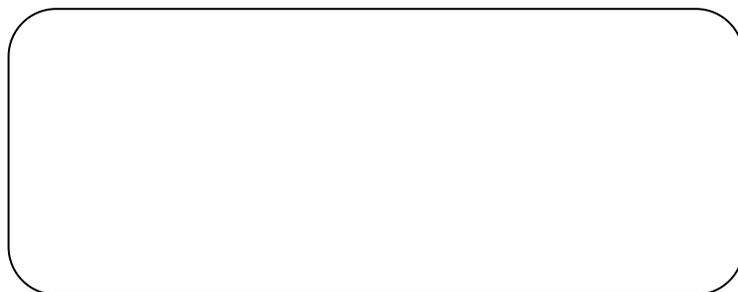
- ・ 全体寸法 12.5m × 3.0m × 2.3m
- ・ 室内寸法 3.0m × 3.0m × 2.0m
- ・ 高温室 20°C ~ 80°C (20 ~ 95%RH)
- ・ 低温室 25°C ~ -40°C
- ・ 恒温恒湿室 20 ± 2°C (65 ± 5%RH)
- ・ 降雨室 10°C ~ 30°C
- ・ 記録 温度記録計



各種環境試験路

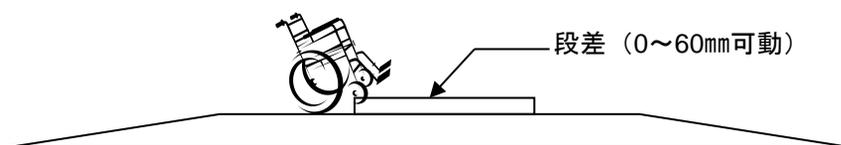
1. 連続走行距離試験路

主に電動車椅子の連続走行距離測定試験に用いるコース。18°C ~ 25°Cの環境温度下で、被試験製品をテニス大のコースを予備周回させたり、その後最高出力状態で右回り・左回り各10周走行した時の消費電力を測定することができます。そして、計算式により理論上の走行距離を求めることができます。



2. 段差乗越性試験路

水平方向に距離50cm離れた地点から最高出力で助走した速度で前進・後進時に段差を乗り越えられるかが確認できます。



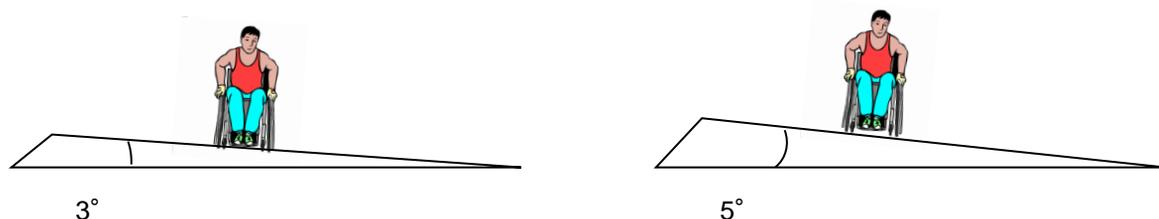
3. 直角路走行性能試験路・180° 回転性能試験路

「回転性能試験」を検査する試験路。被試験製品を直角の前で停止させ、前進で切り返しを行わず直角路を往復走行させる試験を行う。

ついでに間隔は、900mm～を1800mmに可変できる。

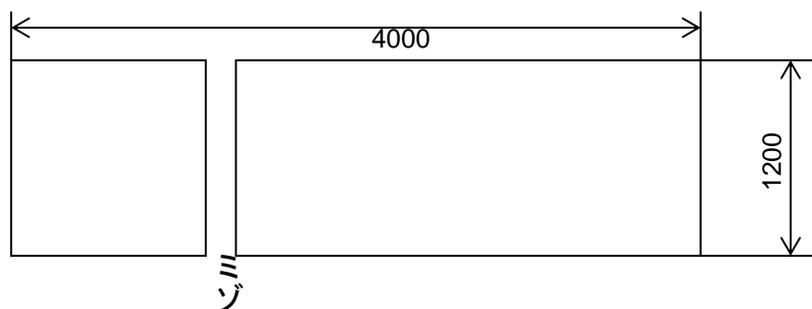
4. 斜面直進走行試験路

片流れは、道路の進行方向の傾きである。雨を排水するための側溝がある道はたくさんあり、歩道では角度がついている道が多い。被試験品を最高出力状態で前進往復させまっすぐ進むかを確認する。斜面角度は、3° 及び5°。



5. 溝踏破走行試験路

踏切を車椅子で涉る際、線路にキャスターがはまる事故例がある。溝幅を0～140mmまで可動し、溝を乗り越えられるかどうかを検査する。



設備年間ご利用のご案内

屋内傾斜走行路を例にすると、スポットでご利用の場合、現在1時間5万円の利用料をご負担いただいております(各種試験路は1時間2万円)。

屋内傾斜試験路ご利用を年間契約いただいた場合は、1時間当り約3万円超の経費削減ができます。また、より計画的な製品開発スケジュールを実現できます。

契約

※試験設備を利用する権利の購入

契約期間は1年間

契約終了

製品開発段階・自社実施試験時の利用サービス



以下設備の利用についての年間サブスク料金 (消費税別)

いずれも製品開発・製品試験の利用に限定
利用スケジュールは応相談

- 「屋内傾斜走行路」 (0° ~12°) : 利用料金 : 年間204時間まで 400万円
- 「各環境試験路」 (6試験路) : 利用料金 : 年間100時間まで 100万円
- 「屋内静的安定性試験機」 : 利用料金 : 年間100時間まで 100万円
- 「耐候試験室」 (4試験室) : 利用料金 : 年間100時間まで 300万円

- ※1 試験設備貸出にあたっては、第三者の「目」として、また試験機稼動の責任者として弊財団職員が立ち合います。
- ※2 契約期間は、原則1年間となります。例えば契約日が2024年12月1日の場合、同日の契約時刻に拘わらず、貴社が保有する使用権は2025年11月30日23時59分迄となります。
- ※3 上記ご利用料金は、ご契約成立日後直近の貴社お支払い規定日に一括してお支払いいただきます。なお、ご利用料金には光熱費・水道料金等を含みますが、弊財団までの主要交通費・食事代等は含みません。
- ※4 ご利用スケジュールは事前にお打ちさせていただきますが、連続日・連続時間でのご利用も可能です。
- ※5 秘密保持・試験所入室順守事項等に関しては、弊財団の「試験約款」に基づくほか、ご利用の際に交す別途「契約書」によります。